

所属名	事務事業名	ページ番号
森林整備課	林業団体支援事業	2
森林整備課	後継者対策事業	3
森林整備課	荒廃竹林整備事業	4
森林整備課	森林資源活用支援推進事業	5
森林整備課	民有林森林整備事業	6
森林整備課	森林浴セラピー事業	7
森林整備課	地域おこし協力隊事業	8
森林整備課	間伐等森林整備促進対策事業	9
森林整備課	森林・山村多面的機能発揮対策事業	10
森林整備課	森林経営管理事業	11
森林整備課	林道維持管理事業	12
森林整備課	市有林造林事業	13
森林整備課	水源林造成事業	14
森林整備課	ふるさと木材利用拡大推進事業	15
森林整備課	木材供給体制整備事業	16

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	林業団体支援事業	事業期間	平成 18 ~	年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	05森林保全と林業の振興		
	基本事業	担い手の育成と確保		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	林業振興のため設立された団体の支援を行い、地域林業の発展を図る。				
事業の対象者	市民団体及び林業事業者				
令和3年度 主な活動実績	林業振興に寄与する林業振興団体の活動に補助した。 対象団体：8団体 佐賀市林業推進協議会、富士町生産森林組合連絡協議会、佐賀東部森林組合、富士町林業研究会、三瀬林業研究会、佐賀市婦人林業研究会、三瀬もりの会、林業女子会@さが				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,632	1,512			
うち佐賀市の負担額	1,632	1,512			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活動目的を達成した支援団体						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8	8 8	8	8	8		

Legend: ■ 目標 (Target), ◆ 実績 (Actual)

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Legend: ■ 目標 (Target), ◆ 実績 (Actual)

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	効果的な支援の実践により、団体数確保及び団体活動の活性化が図られた。



成果目標達成に向けた対応策等
団体の活動目的達成のため、より効果的な活動ができるよう助言、指導を行い地域林業の活性化に繋げる。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

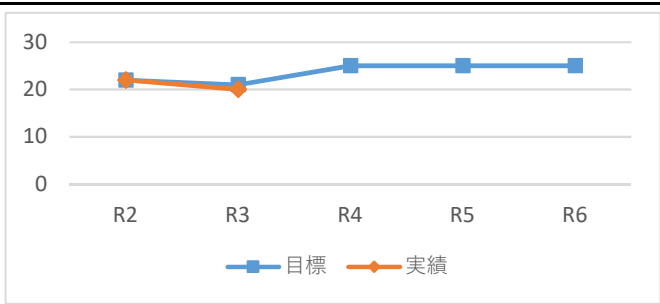
事務事業名	後継者対策事業	事業期間	昭和 53 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	担い手の育成と確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	担い手の育成を図るため、林業振興活動及び林業事業者における雇用促進策に対し助成を行う。また、担い手の確保を図るため、林業就業体験研修を開催する。				
事業の対象者	森林組合員、林業就業体験研修応募者				
令和3年度主な活動実績	森林組合の雇用促進策へ助成。また、高校生等の若年者を対象とした林業就業体験研修を開催した。 対象団体：2事業体 富士大和森林組合、佐賀東部森林組合 林業就業体験研修会：5名参加				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,113	5,632			
うち佐賀市の負担額	3,514	3,294			

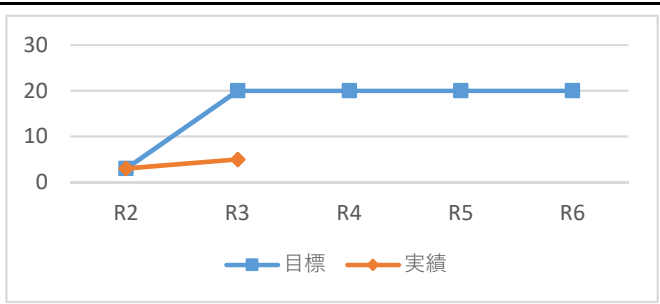
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
森林組合労務班員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
22	21 20	25	25	25		



年度	目標	実績
R2	25	22
R3	25	20
R4	25	25
R5	25	25
R6	25	25

成果指標②						単位
林業就業体験研修参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	20 5	20	20	20		



年度	目標	実績
R2	20	3
R3	20	5
R4	20	20
R5	20	20
R6	20	20

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	森林組合と連携しながら魅力的で働きやすい労働環境づくりを行った。



成果目標達成に向けた対応策等
募集方法の検討及び拡充を行い、今後も引き続き林業従事者の育成・確保を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	荒廃竹林整備事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	旧富士町、旧三瀬村管内の荒廃竹林について、伐採・整備することで、隣接した人工林への侵入竹林対策やたけのこ生産など有効活用を図る。				
事業の対象者	竹林所有者（旧富士町、旧三瀬村）				
令和3年度 主な活動実績	荒廃竹林の下刈りを実施した。 実施面積 下刈り：5.47ha				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,961	1,102			
うち佐賀市の負担額	61	2			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
竹林整備総面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8.51	7.15 5.47	1.25				

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	地権者との協定及び現地の状況に基づき、最大限適切な整備が実施できた。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は、旧富士町・三瀬村の荒廃し利用されなくなった竹林の整備、有効な利活用を目的に、地権者との協定に基づき事業を行ってきた。景観保持や竹資源の有効活用を含め、優先順位をつけながら整備を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

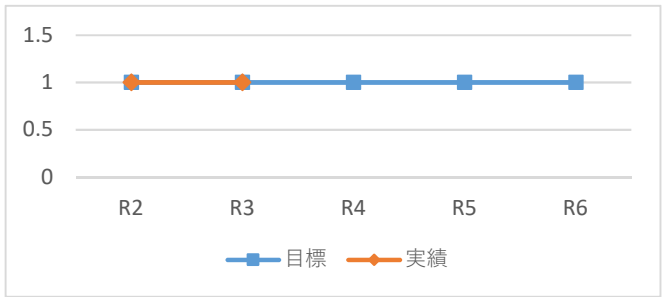
事務事業名	森林資源活用支援推進事業	事業期間	平成 23 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	市産木材の利用促進	

1 事務事業の基本情報

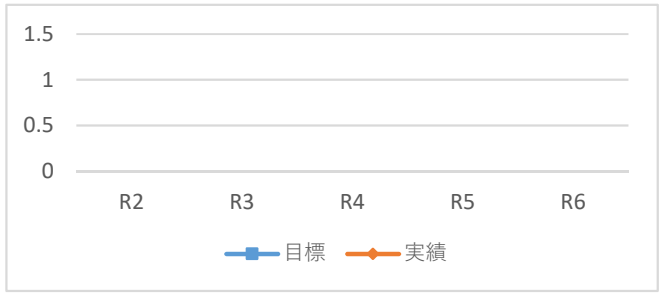
事業概要・目的	富士、三瀬地区における森林資源を掘り起こし、利活用を促進するために、特用林産物や市産木材などの有効活用を図る研究やモデル事業を支援する。				
事業の対象者	市民団体等				
令和3年度 主な活動実績	市産木材の利用推進を図るため、木工製品の開発、研究を行う団体へ補助を行った。 対象団体：1団体 NPO法人 みんなの森プロジェクト				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	500	500			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
林業振興団体						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	1 1	1	1	1		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	木工製品の開発、研究を行う団体を支援したことにより、特用林産物や市産木材の有効活用が図れた。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は、平成23年度から令和2年度までの10年間で、延べ19件の活動を助成してきた。森林資源の有効活用による林家所得の向上に向けた活動支援として、今後も継続して支援していく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	民有林森林整備事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	林業の振興・促進及び水源のかん養、水害・土砂災害の防備、生態系の維持、地球温暖化の防止など森林の有する公益的機能の高度発揮のため、森林組合等の事業主体で実施される森林整備や作業道開設の経費に対し助成する。
事業の対象者	市民（森林所有者）
令和3年度主な活動実績	森林組合等が実施する下刈・間伐等の森林整備や作業路開設に係る経費に対し、補助金を交付した。 助成対象面積等 人工造林：9.91ha 下刈り：24.01ha 枝打ち：0.64ha 間伐：62.14ha 作業道開設：12,399m

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,014	11,003			
うち佐賀市の負担額	2,014	2,203			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施業面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
85.54	160 96.7	165	170	170		

成果指標②						単位
作業路開設延長						m
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9,147	17,000 12,399	17,500	18,000	18,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	ウッドショックによる木材価格の高騰等により、指標外である主伐（皆伐）が進み、予定していた森林整備（間伐等）施業地が減少した。



成果目標達成に向けた対応策等

森林の更新・循環による適切な維持管理を図るため、森林施業に係る一部経費を助成することで、森林整備に係る自己負担を軽減し、間伐等適期の森林施業を促進する。
--

令和4年度 事務事業進捗報告シート

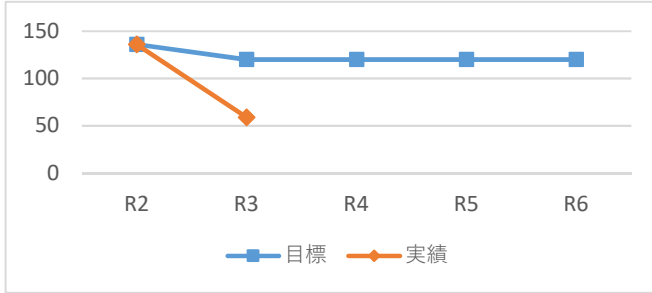
事務事業名	森林浴セラピー事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	森林空間を利用した新たなサービス産業・ライフスタイルを創出し、地域の活性化を図るため、森林浴セラピーツアーを実施する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度主な活動実績	春・秋の森林浴体感ツアーの開催、森林浴ロードの設定 実施内容 体感ツアー（2回開催、59名参加）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,243	270			
うち佐賀市の負担額	43	70			

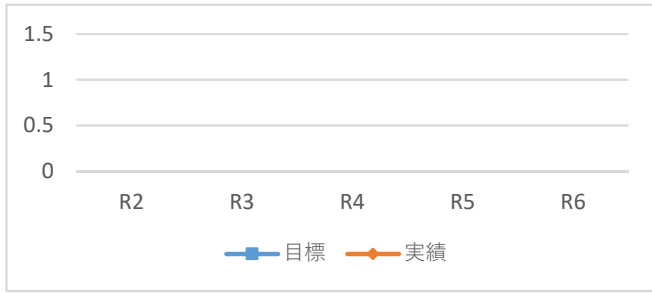
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
136	120	120	120	120	59	



年度	目標	実績
R2	120	136
R3	120	59
R4	120	
R5	120	
R6	120	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画通りの実施ができなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
応募数は定員を上回っており、市民のニーズは高いので、今後は、地域振興や森林環境教育等と連携した取り組みとして、事業を検討する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

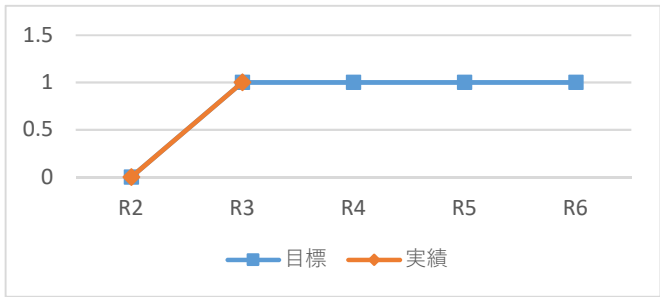
事務事業名	地域おこし協力隊事業	事業期間	平成 26 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	担い手の育成と確保	

1 事務事業の基本情報

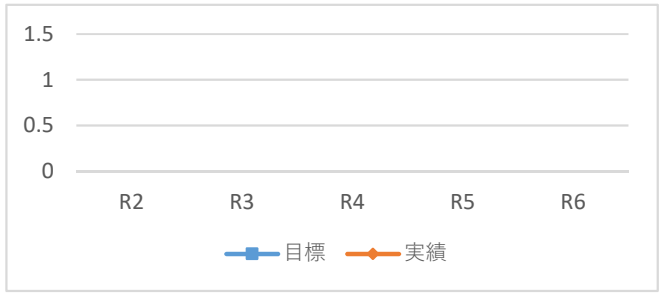
事業概要・目的	人口減少・高齢化等の進行が著しい本市に、都市部の人材を招致してその定着を図るとともに、森林・林業に活力を与え、地域の活性化等を促進するため、地域おこし協力隊員を任用して地域協力活動を行う。				
事業の対象者	富士地区の住民				
令和3年度主な活動実績	都市圏からの人材を受入れ（1名雇用）、富士町において森林・林業に活力を与え、地域の活性化に資する活動を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	2,193			
うち佐賀市の負担額	0	2,193			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
協力隊員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1 1	1	1	1		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	地域おこし協力隊員の任用により、地域林業の活性化に資する活動が展開された。



成果目標達成に向けた対応策等
地域おこし協力隊は任期が3年間であるため、令和6年度以降も途切れることがないようにPR等を行い、林業及び山間地の活性化を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	間伐等森林整備促進対策事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	効率的な供給体制の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給を推進するため、高性能林業機械の導入を支援する。				
事業の対象者	林業事業者				
令和3年度主な活動実績	高性能林業機械の導入希望がなかった。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	15,120	0			
うち佐賀市の負担額	40	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
森林整備面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
85.54	160 96.7	165	170	170		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	ウッドショックによる木材価格の高騰等により、指標外である主伐（皆伐）が進んだが、今後も、効率的な森林施業を推進し、働きやすい環境づくりを支援していく。



成果目標達成に向けた対応策等
高性能林業機械の導入により、木材の安定した供給体制を強化するとともに、後継者不足により求められている森林施業の効率化・省力化を図り、魅力的な働きやすい環境づくりを支援する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	森林・山村多面的機能発揮対策事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	森林の有する多面的機能を発揮するため、市民団体等が行う荒廃した里山林の保全活動や侵入竹伐採等の荒廃竹林の整備活動、森林資源の利活用に係る伐採活動等を、佐賀森林山村対策地域協議会と合同で支援する。				
事業の対象者	市民団体等				
令和3年度 主な活動実績	市民団体等が行う荒廃した里山林の保全活動や、侵入竹伐採等の荒廃竹林整備活動に対する支援を行った。 対象団体：1団体 葉隠の杜活動組織				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	199	48			
うち佐賀市の負担額	199	48			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
支援対象団体						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	1 1	1	1	1		

Legend: ■ 目標 (Target), ◆ 実績 (Actual)

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Legend: ■ 目標 (Target), ◆ 実績 (Actual)

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	効果的な支援の実践により、支援対象団体の計画的な活動が展開された。



成果目標達成に向けた対応策等
森林・山村の多面的機能の維持、向上を図り、自立的な山村の活性化を促進するため、市民団体等の活動を支援する。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	森林経営管理事業	事業期間	令和 1 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	森林経営管理法（森林経営管理制度）に基づき、手入れが行われていない森林を佐賀市が仲介役となり森林所有者と事業者をつなぎ、健全な状態に整備する。 また、森林環境譲与税を活用して森林整備や担い手の育成・確保、木材利用の促進や普及啓発に関する施策を展開する。				
事業の対象者	市民 林業事業者				
令和3年度 主な活動実績	森林経営管理法（森林経営管理制度）に基づき、森林の経営管理について森林所有者への意向調査及び森林整備、担い手の育成・確保やスマート林業化に関する事業を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	40,460	40,700			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
意向調査実施面積（累計）						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,055	2,000 2,288	3,000	4,000	5,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	効率的な事務遂行により目標達成が図られた。



成果目標達成に向けた対応策等
森林経営管理制度を推進し、森林整備を一層加速化する。 また、森林環境譲与税を活用し、森林整備、担い手の育成・確保及びスマート林業化を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	林道維持管理事業	事業期間	平成 25 ~	年度
担当部署・係名	森林整備課・基盤整備係	担当課長名	副島 淳一	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	05森林保全と林業の振興		
	基本事業	効率的な供給体制の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	既存林道が安全安心して通行できるよう林道の補修及び橋梁の点検補修等維持管理を行う。 管内林道：91路線、延長193,446m 管内橋りょう：49橋				
事業の対象者	市民及び林業事業者				
令和3年度 主な活動実績	林道除草業務委託41,675mを年2回 主要な林道パトロール18路線を年2回 法面・路肩補修工事5件 橋りょう点検7橋、詳細調査1橋、補修設計1橋				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	50,952	58,966			
うち佐賀市の負担額	48,028	54,964			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
橋りょう点検						橋
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8	8 9	17	12	11		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	効率的に優先順位を定めたため、目標達成を図れた。



成果目標達成に向けた対応策等
既存林道の安全通行と、林業の生産性向上のため、引き続き維持管理を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市有林造林事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市有林の財産管理を適切に行うとともに、森林の持つ水源かん養・国土保全など、多面的・公益的機能を確保する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度主な活動実績	市有林の下刈り、間伐等 実施面積等 下刈り：11.58ha 間伐：10.16ha 地拵え：0.20ha 作業道開設：1,277m				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,570	13,642			
うち佐賀市の負担額	3,326	2,545			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施業面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26	32 22	32	35	35		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	隣接地権者との協議・調整案件が生じた箇所以外は施業ができた。



成果目標達成に向けた対応策等
伐採適齢期に達している市有林もあるため、今後は間伐だけでなく、主伐（皆伐）を計画的に実施し、森林の更新・循環による適切な維持管理を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	水源林造成事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターと分収契約を締結した市有林において、市が保育事業を行い、その費用については国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターが負担し、市有林の適切な管理を行う。				
事業の対象者	市民				
令和3年度主な活動実績	分収造林地の下刈り、間伐、除伐及び作業道開設等保育事業を実施した。 実施面積等 間伐：19.37ha 除伐：23.18ha				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,678	8,780			
うち佐賀市の負担額	103	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施業面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9.57	21 42.55	10	10	10		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	計画的な施業により目標達成が達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターと、分収造林契約を締結している市有林の適切な維持管理について、引き続き計画的な施業を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ふるさと木材利用拡大推進事業	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	市産木材の利用促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	県産木材を利用した公共施設の木造化及び木製品の導入に対し補助金を交付し、県産木材の利用拡大を図る。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	公共施設の木造化：来迎寺自治公民館 木製品の導入：佐賀県市町会館				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	-	3,177			
うち佐賀市の負担額	-	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
素材生産量					m ³
R2 実績	R3 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
	18,852	16,000	17,000	18,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和3年度は基準値となるため、令和4年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
展示効果の高い公共施設に県産木材を利用することにより、県産木材のPR及び木材利用の拡大を図る。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	木材供給体制整備事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	森林整備課・森林管理係	担当課長名	副島 淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	効率的な供給体制の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	木材の生産量の増加を図り、林業の再生につなげるため、林業経営体の生産基盤である林業機械の導入に対して支援する。				
事業の対象者	林業経営体				
令和3年度 主な活動実績	木材の伐採、搬出に必要な林業機械（国庫補助の対象とならない機械）の導入に対し、補助金を交付した。 補助率：対象経費の30%以内（令和4年度は間接補助90%（県60%、市30%）以内） 対象林業経営体：富士大和森林組合、ウッド・エコ産業株式会社				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度		
事業総額	-	3,038	8,460		
うち佐賀市の負担額	-	138	20		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位	
素材生産量					m ³	
R2 実績	R3 実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
	18,852	16,000	17,000	18,000		
成果指標②					単位	
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和3年度は基準値となるため、令和4年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
本事業で林業機械の導入を支援し、後継者対策事業や森林経営管理事業の林業担い手育成との相乗効果により、木材の生産量の増加を図り、林業の再生につなげる。